

## 令和 7 年度第 2 回学校運営協議会議事録

令和 7 年 10 月 30 日（木）

記録者 吉田 新一

1 開催日時 令和 7 年 10 月 7 日（火）14:30～16:00

2 開催場所 岩手県立大東高等学校 応接室

3 出席者

菅野 佳弘様 摺沢市民センター所長  
小原 玉義様 小原書店  
菅原 正浩様 一関市立大東中学校長  
加藤 麗子様 一関商工会議所大東支所長  
菊池 亮様 （有）古鼎堂 代表取締役  
小島 誉洋様 トータルインテリア創美 代表  
小野寺一喜様 一関市社会福祉協議会大東支部 主幹

大石 敦子 校長 吉田新一 副校長 木村 和明 教務主任  
安東俊彦 進路指導主事 澁谷 仁 情報ビジネス科主任  
（吉田義紀事務長、武田宏行総務主任 オブザーバー参加）

4 校長挨拶

- ・第 1 回の学校運営協議会后、高総体、クラスマッチが行われた。大東中学校長先生のご理解のもと、大東中学校へ生徒会が訪問、高校生活を紹介し交流した。夏の高校野球の全校応援や文化部の合同発表会が 7 月に行われた。
- ・県を超えて全国で活躍する生徒が現れた。陸上競技やり投げの県 1 位の金野さん、県の商業高校英語スピーチコンテスト暗唱部門で 1 位の村上さんなど、県代表として全国大会に出場、学校として嬉しく思っているところである。
- ・夏休み中には夏季講習、3 年生の進路目標に向けての取組、ジョブカフェとの連携等で個々の進路指導へ取り組んだ。
- ・1、2 年生は部活動や地域の様々なボランティア活動に取り組んだ。市民センター様をはじめ、いろいろとお声がけをいただいた。
- ・2 年生が夏休み明けの 3 日間、インターンシップで企業、こども園、図書館等受け入れていただいた。感謝申し上げます。その発表会を本日校内で発表会を開催している。
- ・各種検定試験に対し、情報ビジネス科だけでなく普通科の就職コースの生徒も全商の資格取得にもチャレンジし、取得することで自信に繋がっていると思われる。
- ・就職試験の 1 回目の結果が出始めているところである。

- ・新入大会に他校との合同チームで駅伝や野球、ソフトボール、ソフトテニスなどが参加。
- ・鹿踊部は、大東地域のみならず花巻まつり、東山の唐梅館絵巻などで演舞を披露、今月下旬に高総文祭の発表を控えている。
- ・情報ビジネス科のチャレンジショップは、東山や一関での物品販売を今後予定されている。足を運んでいただきたい。
- ・生徒の活躍が様々だが、本校も再編計画の対象になっており、どのような学校運営がいいのか意見を賜りたい。
- ・来年の10月10日、創立百周年記念式典を予定。あと1年となり、横断幕を市民センター様のご協力で設置させていただいた。準備をさらに進めて参りたい。
- ・本日は様々な多角的な視点からご意見を頂戴したい。

## 5 令和7年度前期活動報告（資料で説明）

（A委員）

四年制大学進学希望に対し、推薦と一般受験いずれで臨むケースが多いのか。また、それをいつ頃決めるのか？

（B委員）

全員推薦で出願する予定。推薦を決定するのは夏休み前後。

（A委員）

県の英語スピーチコンテストには何人くらい出場したか。

（C委員）

県全体30名。厳密に審査されての1位で全国大会は1名のみ。商業科の生徒ではないが出場可。総合学科の生徒が出場するケースあり。今回1位の生徒は3年連続の出場。

## 6 協議

### （1）大東高校の目指すべき方向性について（資料説明後に協議）

（A委員）

一関市の担当から、当初案に関わって話を聞きたいということだったので出席したが、一関市は、大東高校の存続に向けて応援したいとのこと。しかし、大東高校のみをと言うわけにはいけないので、存続が危ない高校を応援したい。間に合えば今年の予算措置も可能。市としても存続にかけて取り組みたいとのこと。

（会長）

委員の皆さんからご意見をお願いしたい。

（事務局）

本日欠席の佐藤柊平さんからメールを頂いたので書面で紹介する。これを含めてご協議いただきたい。

(C委員)

失礼な発言になるかもしれないがお許し頂きたい。8月奥州市で開催された再編計画に関する説明会に出席した。同窓会長も出席していたかと思う。県から示されたデータを見ると、お手上げという感じがした。某高校の関係者が積極的に発言していたので、紹介すると、費用対効果の話をされれば太刀打ちできない。中学は1クラス35名であるのに高校は1クラス40名で換算するのはどうなのか、また、歩いて通学できるところに高校があるのに、遠くの学校に行けというのはどういうことか、統合先の学級数を1つ減らせ等の発言であった。これらの話は感情論にもとづくものと思われるが、感情論的に言えば、大東高校は令和8年度で普通科が定数減となり、さらに翌9年度に情報ビジネス科を募集停止にするというのは、時間的に早すぎるのではないか、普通科が定数減となる分、情報ビジネス科が増えることも考えられる。

(D委員)

情報ビジネス科の募集停止について、7年度の実績で8年度も少ないと予想し、9年度から募集停止とするという点について疑念を抱いていると市の担当者から話しがあった。また、本校を1学年1学級の状態にしたいくない、つまり普通科と情報ビジネス科を残したい旨の話もあった。我々も情報ビジネス科の魅力をどうするかを考えなければならない。

(C委員)

奥州市の説明会では、某高校の関係者はかなり発言していたが、数字を占めされると厳しい状況であることは間違いないし、同窓会長様は「何とか(残して欲しい)」と発言するのが精一杯だったと思う。地域の人たちが声を上げないと、当初案のとおり進んでいくと感じた。

(E委員)

当初案が変更される可能性はあるか。いつ頃までにどういう声を上げればいいのか。

(A委員)

市の方の話だと、11月に修正案が出るような話だったと思う。8月の地域検討会議では、市の関係者(市長、教育長)が情報ビジネス科の存続を主張したとのこと。今年は3名の入学者だが、前年は17名であり、10名以下の入学者が2年連続となったわけではないので、廃止は尚早ではないかと話していた。いずれ、地域の人たちが声を上げなければならないのはその通り。また、他の地域で地元の高校を残すために協議会を立ち上げ、それに地元自治体が支援するという事例を紹介していた。本校の場合も本協議会とは別に組織するべきではないか。現在大東地域の6地区があるので、それぞれの会長等に声を掛けることも検討すべきか。組織的に働きかけることが必要ではないか。

(会長)

組織作りについては、11月をめざして行わなければならないと思う。

(A 委員)

入学者が減っていくと予想される中、大東高校の存続を目指した組織づくりが必要になると思う。

(会長)

本校のどういう状況を目指すのか、それに向かって我々は何ができるのか、何をすべきかを整理しなければならない。

(F 委員)

当面の目標とするのは 2 クラスを維持することで、協議会を設立するのは中長期的目標として位置づけることではないか。地理的要件を考慮して、小規模でもある一定の距離の中に高校を置くという考えで主張することもあるのではないか。

(会長)

そうした考えも、個人で主張するとなると限界がある。一般論で、何か物事を達成しようとする場合に必要な 3 つのことが、「しくみづくり」「人づくり」「環境づくり」。「しくみづくり」は組織をつくること、「環境づくり」は生徒を取り巻く保護者や地域の方々、「人づくり」は生徒（と一緒に）。これらを総合的に醸成しないと物事はうまくいかない。「組織づくり」を今はまずはしなければならない。

(G 委員)

地元中学校からたくさん入学すればいいのだろうが、生徒なりの進路選択があるし、保護者もその意志を尊重しなければならない。また、他地域からの流入も減少しており、いずれは学校の存続について、地域の大人が大東高校を残すためにどうしなければならないか考えなければならない。情報ビジネス科がどんな活動をしているのかを中学生が知ったときの表情は印象的であり、それを見るとこうした形でなくなるのはどうなのかとも思う。今後 10 名以上となる場合も見据えていくことも必要か。

(A 委員)

6 地区の会長さんたちに話し合ってもらって、早急に要望を出してもらうような方法が必要ではないか。1 学級減った後どうするかは、我々（本協議会）で考えなければならないが。

(会長)

11 月までに仮でも組織を作って、市への働きかけができるようにする。それができるのは 6 地区の会長さん方ではないかと思う。学校からは学校の情報を提供してもらい、あとは地域の住民の活動の中でやるべきではないかと考える。

(A 委員)

少なくとも、情報ビジネス科の廃止を先送りしてもらおう。それぞれの学科が定員に満たず、20 人程度ずつでも、2 つの学科が交わることで良さがある。普通科の生徒が商業科の先生たちの指導を受けて資格を取得して就職に繋げている。こうした良さを残したい。

(会長)

今回、当初案で統合等の計画の対象にならなかった近隣の学校でも、当初案の影響を受けるのではないかと、懸念しているという声も耳に入ってくる。

(会長)

いずれ、大東地域の6地区の会長さん方に今回の状況の報告をし、地域としてどう対処するか働きかけをしたい。

## (2) 次年度における本協議会の組織について

(事務局)

現在、校外委員10名、校内委員5名だが、これを、校外委員2名ほど増やしたい(校内委員は3名程度)。理由は、資料のとおり「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」を目指して、本校の運営に地域の方々が意見する機会を少しでも増やすため。人選を含め、3回目の協議会で具体的にご推薦いただきたい。

## 7 その他

第3回学校運営協議会の開催について

(事務局)

2月の中旬から下旬にかけ、実施を考えている。委員の多くの方々に出席いただけるように、時期を見て調査をする。ご協力をいただきたい。